

南浜中たより 		【教育目標】 深く考え 心豊かに 実践する生徒 令和8年8月25日(火) No.5 新潟市立南浜中学校 校長 五十嵐 勝彦
---	--	--

暑さに負けず、自分に負けず

今年は、梅雨明けが遅れ、8月に入って、ようやく夏休みが本格的に始まったと感じたのではないのでしょうか。皆さんは、34日間の夏休みをどのように過ごしたのでしょうか。21日(金)に久しぶりに会った仲間もいることでしょう。元気な皆さんの顔が見られたことが何よりでした。

さて、海鷹祭に向けて徐々に気持ちも高まってきているはずです。これから行われる2大行事(海鷹祭・松風祭)は、自己指導能力の成長を目指す皆さんを学習面とは異なる面から鍛えてくれる機会となります。ぜひ、各軍のため、学級のため、そして自分のために、先を見据え、計画的に与えられた役割や目標・ねらいに向かって取り組んでください。

結団式の様子

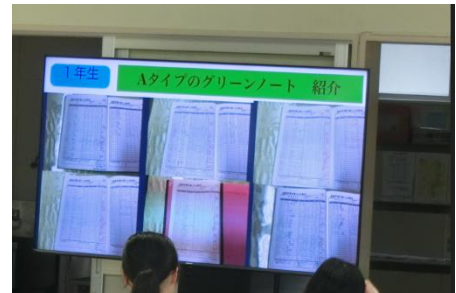
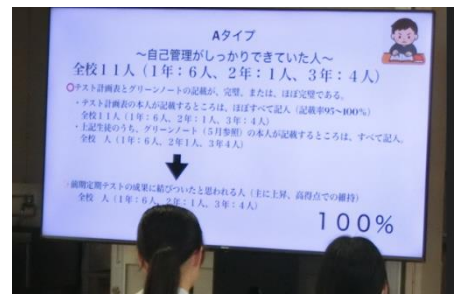


ダンスの振り付け練習



継続は力なり

～自己指導能力の育成を目指す4月からの取組から見たこと～



25日(火)より3回目の学習強調週間が始まります。1回目と2回目の反省を活かし、更なる自己指導能力育成のレベルアップを目指すためにも、強い意志をもち取り組んでください。

そこで、校長が夏休み中に、皆さんの4月から取り組んできたグリーンノートと定期テストの計画表、そして、一人一人の定期テストの結果に目を通し、分析して感じたことを伝えたいと思います。

それは、「グリーンノートへの取組、定期テスト計画表」を地道に毎日記録し、すべて記載している人は、テストの結果に確実に成果が現れているということです。7月に前期定期テストが行われましたが、きっとテスト範囲内の内容を計画的に調整しながら進めることができた人だと思います。

記載率が8割～9割の人は、ある程度、成果は出ているが、やりきれていないため大きな伸びが見られた人は少なかったです。

記載率が8割を切っている人は、まだまだ自分のやっていることが管理できていないため、昨年度の結果より伸びなかったり、下がったりしているなど成果に結びついていない人が多かったです。

自分の日々のグリーンノートの記載や前期定期テストの計画表の記載を見返してみましょう。

目標に向かい計画的に、そして、調整しながらやりきることが、確実に自己指導能力を鍛えます。「これを実行に移すことができる人が、成果を出していく人だ」と皆さんのグリーンノートや定期テストの計画表の記載を見て、感じました。

しかし、毎日続けることは、自分の怠け心と戦い、それに打ち勝つ強さがなければできないことです。全校朝会の校長講話では、具体的に取組の素晴らしい生徒のグリーンノートやテスト計画表を画像で確認しました。少しでも行動に移すきっかけになり、変わっていく生徒が一人でも増えることを願っています。